



世界の現場から



ZW310-5Aは、エコモード機能により、最大積載量を積んだ状態でも長時間燃料効率を保つことが可能。また、自動化された可逆冷却ファンも備えているため、最小限のメンテナンスで済むことも生産性の向上につながった。

インドネシアの採掘場で 高機能ホイールローダが実力を発揮

インドネシア・南カリマンタン州バンジャルマシン



炭鉱事業を営むPTレゼキマクマルセンターサ社（以下、PT RMS社）は、インドネシア・バンジャルマシンにあるビンアン採掘場で操業している。同社は、石炭の採掘と輸送の間に行われる仮置き・粉砕の過程において、適切な積載能力を持ち、機敏で燃料効率の高いホイールローダを求め、日立建機のグループ会社であるヘキシンド社と共同でホイールローダZW310-5Aを導入した。

PT RMS社は、「ZW310-5Aは大きなけん引力に加え、エンジンの回転数を制御し、燃費を低減しながらスムーズな

操作ができるアクティブエンジンコントロールシステムを持ち合わせている。その優れた性能のおかげで、仮置き・



採掘場で実際にZW310-5Aを操作したオペレータは、「安全性が高く、丁寧な動きにも対応できるのでとても快適だ」とコメント。

粉砕過程における時間のロスを削減することができた」と評価し、期限内に生産目標を達成できたと語った。



日立建機の建設機械が ビジネスのさらなる成長をサポート

インドネシア・西スマトラ州パダン



CV スーリヤインダー社は、インドネシア・西スマトラ州パダンを拠点とする建設機械のリース会社だ。同社は20年ほど前に事業に参入して以来、日立建機のグループ会社であるヘキシンド社と協力してきた。

CV スーリヤインダー社は建設機械の需要増加もあり、2018年まで事業を発展させてきた。売上高を前年から大きく伸ばし、建設機械の所有数を拡大。現在、19台の中型油圧ショベル、3台の大型油圧ショベル、2台のホイールローダを所有している。その中核を成しているのが日立建機のホイールローダ ZW220-5A

である。

同社は「ZW220-5Aの強みは、操作性の高さとメンテナンスのしやすさにある。私たちはZW220-5Aのおかげで収益性を高め、適切な建設機械の所有により顧客に対するサービスを向上させることができた」とコメント。

ビジネスを成長させ、現在も顧客の信頼維持につながっているという。

CV スーリヤインダー社は、「ZW220-5Aは、オートマチックトランスミッションと自動でラジエタについたほこりを除去するクーリングファンを備えている。その上、予備部品も入手できるため操縦者や整備士にとっても便利」と語る。



素早い動作が可能なZW220-5Aは燃料効率が高い。